

トルコ縦断～サガラッソスと古代フリギア王国の遺跡を訪ねて



2019年 **ご旅行期間とご旅行代金**
4月11日(木)発～4月20日(土)着…¥376,000

サガラッソスニフェウム

一人部屋利用追加料金 **¥48,000**

トルコの天空遺跡 サガラッソス

エイルディル湖の南西に位置するサガラッソスは、アナトリアの主要都市として、ヒッタイト文書にもその名が見られるようにヘレニズム時代よりもさらに古くから栄えた古代都市です。その豊かさが災いしてアレクサンダー大王に征服されたりもしましたが、紀元前1世紀後半にローマに組み込まれ、帝政ローマ時代、特に五賢帝時代に最盛期を迎えました。その繁栄が多くの人々を惹きつけ、人口5000人の都市に**9000人収容のローマ劇場**が建設されました。標高1700mのトルコ語で「白い山」を意味するアクダーという岩山の斜面に広がる都市で、防衛上の理由とはいえ、なぜこんなに高い場所に町を造り、しかもそれが大いに繁栄したのか、現在も多くの謎が解明されておりません。

ビザンチン時代、7世紀の大地震で打撃を受け、住民は他の町に移住しました。1706年に再発見されるまで長らく土に埋もれていましたが、1990年から本格的な発掘が始まりました。サガラッソスの遺跡はエフェソスに匹敵する大規模な遺跡で、ヘレニズム時代、ローマ時代の建築物が良い保存状態で残されています。少し殺風景な岩山には不釣り合いな壮大な遺構が立ち並んでいます。

もともとトルコにおける三大遺跡に数え上げられていましたが、丘の斜面に埋もれた遺跡が広く散らばり、発掘にも相当の時間を要していたため、永らく観光化されませんでした。2010年に「最後の五賢帝」として名高いマルクス・アウレリウス・アントニヌス帝(在位161～180年)が建立させた、7種の大理石に彩られた高さ9m、幅28mの**巨大なニフェウム**(「泉の女神ニフの神殿」の意味から、噴水を伴う「泉水堂」のこと)が13年間の修復を経て完成し、使われていた当時同様に水も再び泉から噴き出し、1800年ぶりにその荘厳な勇姿を私たちに見せてくれるようになりました。

発掘も大分進み、ニフェウム以外にもこの古代都市の様子が次第にわかってきました。遺跡は大きく2つのパートに分けられます。下の広場(ロウアー・アゴラ)と上の広場(アッパー・アゴラ)です。ロウアー・アゴラには紀元180年頃に建設された巨大な**ローマ浴場**があります。そこから階段を下りると**アントニウス・ピウス神殿**に出ます。アッパー・アゴラには、アゴラの正面にマルクス・アウレリウスのニフェウム(泉水堂)が、その向かって右手には古代ギリシャ時代の**フォーラム**があり、そ



アッパー・アゴラ

の上の丘にはヘレニズム後期の噴水邸宅や、床にモザイクが残るローマ時代の図書館があります。そしてその近くには、地震で座席の一部は崩れてしまっていますが、9000席の大ローマ劇場が広がっています。ここは標高1500m、**世界で一番高い場所にあるローマ劇場**です。他にも多くの装飾が施された墓、市議会場、寺院などが多数点在しています。



サガラッソスが近年、世界的な注目を集めたのは、ニフェウムを造らせたマルクス・アウレリウス帝の大理石像の発見です。ロウアー・アゴラのローマ浴場跡から発掘されました。突き出した眼球が特徴とされる頭部、地球を模した球体を握った右腕、鎧で覆われた足など、全長は4.5mになると考えられています。以前にもサガラッソスでは、ハドリアヌス帝(在位117～138年)やヘラクレス、ゼウス、アテナ、ポセイドンなど古代ギリシャの神々の像も発見されています。サガラッソスで発掘された貴重な出土品の数々は近郊の**ブルドゥル考古学博物館**に展示されています。

サガラッソスはユネスコの世界遺産暫定リストに登録されました。観光客がまだほとんど見られず、「つわものどもが夢のあと」の雰囲気味わえる今のうちに是非お出かけいただきたい、「空がとっても近い!!」大遺跡です。



世界で最も高い場所にあるローマ劇場




アリジャンダのローマ劇場











ご旅行条件

- 募集人員／18名様定員
- 最少催行人員／10名様
- 全食事付／朝食8回・昼食7回・夕食7回
- 旅券残存期間／入国時6ヵ月以上
- 成田空港使用料／¥2,610(別途必要)
- 国際観光旅客税[出国税]／¥1,000(別途必要)
- 旅行代金には、**海外の空港税・航空保険料・燃油サーチャージが含まれています。**
- 弊社では**燃油サーチャージを別途徴収いたしません。**
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス(ご自宅～空港～ご自宅)
- イヤホンサービスをご利用いただけます。
- ※ビジネスクラス利用追加料金はお問合せください。
- ※大阪・福岡・中部発着・千歳発着と同一料金
- ※成田発着:¥20,000引き

ご利用ホテル

- イスタンブール**[1泊目]
／ホリデーイン・イスタンブール・エアポート
- アランヤ**／グランドカプタン・ホテル
- アンタルヤ**／ベストウエスタン・ハーンホテル
- アフヨン**／オルチョール・テルマルリゾート
- エスキシェヒール**／ラマダ・エンコール
- イスタンブール**[8泊目]
／グランドホテル・ハリッチ

※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
 ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスをご提供できるよう万全の手配努力を致します。
 ※表記の「」はそれぞれ「朝食・昼食・夕食・機内食」を示します。区印の食事は含まれておりません。

日次	都市名	スケジュールと見どころ／お食事と宿泊地
1	千歳 成田 イスタンブール	<p>スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港</p> <p>■朝、千歳空港より、国内線にて、成田へ。 ■午後、成田空港より、エアロフロート・ロシア航空にて、モスクワで乗継ぎ、イスタンブールへ[12:00発/24:50着]。[イスタンブール泊]</p>
2	イスタンブール アンタルヤ アランヤ	<p>■午前、地下の大貯水池・地下宮殿を見学し、空港へ。 ■午後、航空機にて、南トルコのアンタルヤへ。 ■着後、専用バスにて、11から13世紀にセルジュークトルコの町として栄えたアランヤへ[124km/1時間45分]。[アランヤ泊]</p>
3	アランヤ マナブガット セレウケイア アンタルヤ	<p>■朝、アランヤにて、岬の先端の要塞にご案内します。その後、シャラブサ・ハヌのセルジューク朝時代のキャラバンサライに立寄り、マナブガットへ[60km/1時間30分]。 ■午後、高さはないがダイナミックな景観で、アンタルヤ周辺で一番美しいとされるマナブガットの滝、アーチが付いた古いオスマン橋、ローマ時代の水道橋を観光します。 ■さらに、パムフィリアのセレウケイア(リルベの都市遺跡)を見学し、アンタルヤへ戻ります[75km]。 アンタルヤに連泊です。[アンタルヤ泊]</p>
4	アンタルヤ (フィニケ) (オリンボス) (ファセリス)	<p>■終日、アンタルヤ西方海岸エリアの遺跡群観光。 ■午前、フェニキア人の街フィニケの古代リミラ遺跡とアリジャンダ(アリカンド)の保存状態が抜群の古代リキア建造物群(ローマ劇場など)を見学します。 ■午後、リュキア人の都オリンボス遺跡とロマンチックなローマ・ビザンチン時代のファセリスの遺跡を観光し、アンタルヤへ戻ります[75km/1時間20分]。[アンタルヤ泊]</p>
5	アンタルヤ ブルドゥル (サガラッソス) ディナール アフヨン	<p>■午前、現在発掘が進められている、エフェソスと並ぶ大規模な山の上の大遺跡・サガラッソスへ。着後、9000人収容の世界で一番高い場所にあるローマ劇場跡や現在も水が流れるマルクス・アウレリウスのニフェウム(ローマの泉水堂)、出土品を展示するブルドゥル考古学博物館などをご案内します。昼食はこの地の名物・マス料理です。 ■午後、専用バスにて、アポロンとマルシュアスの音楽の技くらべが行われたとされているディナールに立寄り、温泉地アフヨン(アフヨンカラヒサル)へ[全320km]。 アフヨンに連泊です。[アフヨン泊]</p>
6	古代フリギアの 都市巡り	<p>■午前、触れるものを全て黄金に変えた古代フリギアの王で『王様の耳はロバの耳』のミダス王の都市・フリギアのヤズルカヤの観光(岩壁を削って作られた二つの巨大な門など)。 ■午後、フリギア時代の信仰の2つの中心地・アスランタシュ(2頭のライオンなど、フリギア王国の伝説を彫った岩壁の記念碑)とアスランカヤ(神殿とライオンのレリーフなど)を見学します。 ■夕刻、希望者で800段の石段を登り、岩山の上のビザンチン時代のアフヨン城塞へ上がります。[アフヨン泊]</p>
7	アフヨン チャヴダールヒサル キャタフヤ エスキシェヒール	<p>■午前、チャヴダールヒサルにて、古代ローマ都市アエザニ(古代ギリシャのアイザノイ)の観光へ。ゼウス神殿、劇場とスタジアム、テルマエ、円形市場などを見学します。 ■午後、トルコでも有数の古い歴史を持つ町・キャタフヤの観光(美しいブルーのタイルに覆われたチニリ・ジャーミーや考古学博物館など)。キャタフヤはトルコの昔ながらの習慣が日々の生活の中に残されており、ウル・ジャーミーなどオスマン時代の貴重な建築物も見ることができます。乳白色の下地にコバルト・ブルーの装飾の伝統的な陶磁器で有名な町です。 ■その後、エスキシェヒールへ[全275km]。[エスキシェヒール泊]</p>
8	エスキシェヒール イスタンブール	<p>■朝、海泡石の工芸品が名産のポルスク河畔の町・エスキシェヒールを散策します。 ■その後、専用バスにてイスタンブールへ[285km]。 ■イスタンブール着後、見事なモザイク画のカーリ工博物館の見学。 [イスタンブール泊]</p>
9	イスタンブール モスクワ	<p>■午後、エアロフロート・ロシア航空にて、モスクワで乗継ぎ、帰国の途へ[12:30発]。 [機中泊]</p>
10	成田 千歳	<p>■午前、成田空港到着[10:35着]。 ■午後、国内線にて、千歳へ。夕刻、千歳空港到着後、解散。 スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅 </p>